

T.G. Press

Tokyo Guarantee Press



Special
Feature

巻
頭

◆ 株式会社 新保浴場

地域の人と人をつなぐ 銭湯文化を次の世代へ

何から始める？ どう取り組む？
企業防災のススメ

職場で食べたい
おやつ＆ごはん

TOKYO Startup History
喪服レスキュー株式会社

T.G.Info
LINE公式アカウント友だち募集中！

vol. **63** | 2026
Spring

廃れゆく伝統を残すためには 時代に合わせた変化が不可欠



新保 卓也
 Shinbo Takuya

リサイクル店を経営した後、2012年に家業である「大黒湯」を承継。さらに、「黄金湯」「さくら湯」「金沢浴場」も引き継ぎ、企画力を活かした多面的な取り組みが注目を集めている。

Company Profile

株式会社 新保浴場
 創 業：1949年（大黒湯）
 資 本 金：300万円
 代表者名：新保卓也
 事業内容：銭湯経営を軸に飲食・宿泊サービス、醸造所等を展開
 所 在 地：東京都新宿区新宿7-22-11
 U R L：https://shinboyokujo.com/

ヒットの最大の障壁は？

利用者が激減する中で問われる銭湯の存在意義

戦後間もない1949年、東京・墨田区に創業した「大黒湯」は、地域の暮らしを支えてきた下町の銭湯だ。閉業寸前の状態から、新たな試みで客足を取り戻した三代目の新保卓也さんにお話を伺った。

取材・文／さとうともこ 写真／清水亮一

銭湯離れの時代に あえて家業を継ぐ決断

新保卓也さんが「大黒湯」の三代目となったのは、2012年のこと。もともと家業を継ぐつもりはなく、サラリーマンを経てリサイクルショップを起業し、経営者として3店舗を展開するまでに事業を広げていた。一転して銭湯経営を担う決断をしたのは、父の病がきっかけだ。「高齢の祖母と母だけでは銭湯を続けることができず、閉業の話が出ました。しかし、祖父の代から続けてきた銭湯を残したいと思い、継ぐことを決めました。「一緒にやろう」という妻の言葉も大きな後押しとなりましたね」

しかし、昨今のサウナブームはまだまだ到来しておらず、銭湯は下火の状況。江戸時代から続く銭湯は、日常的な入浴の場であり、地域のコミュニティや文化の発信地として機能していたが、家風呂の普及でその存在意義は失われつつあった。新保さんは「このままでは銭湯文化を次世代

に残すことができない」という強い危機感を覚えた。

「若者からも人気を集めるスーパー銭湯との違いは何か。それは「お客様はニーズに応えられていないのではないか」と思い至りました。新しいチャレンジをして、今の時代に合わせた銭湯に変えていかなければならない。そう決意しました」

早速、ホームページのリニューアルやSNS発信など新規層へのアプローチに着手。薬湯を日替わりにして予定表を配布するなど、通いたくなるべくしかり取り入れた。その結果、口コミで客足が少しずつ増えていった。

非日常を感じる露天風呂と オールナイト営業が話題に

しかしその矢先、東京スカイツリーの開業に伴う再開発の影響を受けて、大黒湯を支えていた常連客の多くが転居する事態に直面する。その打撃は大きく、新たに転居してきた人に来てもらうための策を考える必要に迫られた。

銭湯に馴染みのない人たちに足を運びたいと思っただけではどうすべきか——新保さんは老朽化していた建物と設備の大規模改修に踏み切ることにした。新保さん夫婦は銭湯を継いでからリサーチのために200軒以上の銭湯やスーパー銭湯を訪れており、その知見をもとに改修計画を検討した。

「家にお風呂がある時代に、あえてお金を払って銭湯に足を運んでもらうには、何らかの付加価値が欠かせません。ビルが建ち並ぶ都心にいながら、空を見上げられる大きな露天風呂。それは「非日常を味わう」という銭湯の新たな価値となるはずだと考えました」

改修費用は数千万円規模の借入れを要した。順調とはいえない経営状況で大金を投じるのは不安だったが、新保さんは「お客様にとって必ず価値があるはずだ」と確信していた。実際に、2014年4月にリニューアルオープンすると、都内の銭湯では最大級の広さを誇る大露天風呂は大きな話題に。若い世代も含めて、利用者は一気に増加した。

その勢いのまま、2017年には営業終了時間を深夜0時から翌朝10時に変更し、オールナイト営業を開始。これは利用者の声がかきつけたという。

「近隣には飲食店が多く、深夜まで働き、早朝から仕入れに出る方が少

大黒湯自慢の 「大露天風呂」とは？

ゆったりとした広さの露天風呂で、見上げると空と東京スカイツリー、そして銭湯の煙突を望むことができる。都心にいるとは思えない開放感を味わえる非日常的な空間が人気を博している。日替わりで男女が入れ替わる仕組みとなっており、寝湯と水風呂も併設。駐車場や薪置き場として使用していた敷地を使って増築した。



何から始める? どう取り組む?

企業防災のススメ

第8回テーマ

支援制度を活用しよう

時間や費用の負担を理由に企業防災に着手できていないという企業に知ってほしいのが、法人向けの支援制度です。東京都ではBCP（事業継続計画）の実践に関する助成金や、専門家によるコンサルティングが受けられるBCP策定支援、専門アドバイザーによる個別支援などが用意されています。専門家には企業に合わせた費用のかげどころや、被災時に事業を継続するための対策についての助言が受けられるので、BCPをより実践的なものにすることができます。その他、国や市区町村の制度や、民間の保険会社にもリスク管理や防災対策の支援サービスを活用できる場合もあるのでチェックしてみてください。

被災した人のほとんどが、「準備しておけばよかった」と口にしつづけます。企業、そして従業員を守るために、支援制度も活用しながら積極的に企業防災に取り組んでほしいと思います。

辻直美 (つじ・なおみ)

国際災害レスキューナース。阪神・淡路大震災での経験に機に、災害医療に目覚め、被災地で救命活動、被災者の心のケアに従事。現在はフリーランスのナースとして講演や防災教育をメインに行う。『レスキューナースが教える 最強版プチ防災』(著者:辻直美、発売:扶桑社) など防災にかかわる著書も多数。

今回の防災tips

自社の現状を整理して 支援制度を決める



支援制度はやみくもに利用するのではなく、自社に必要な点や強化すべき点を洗い出したうえで検討しましょう。自社の現状を整理することで、必要な支援や専門家に相談すべき内容が自ずと見えやすくなります。

専門家のアドバイスは ポジティブに受け取る

専門家から備えの不十分さを指摘されることを恐れ、相談を億劫に感じる人は少なくありません。厳しい指導は会社と社員の命を守るためのもの。プロにしかわからないことも多いので、前向きに受け止めましょう。



障壁を突破した瞬間

顧客の需要に応える革新的な取り組みに挑戦

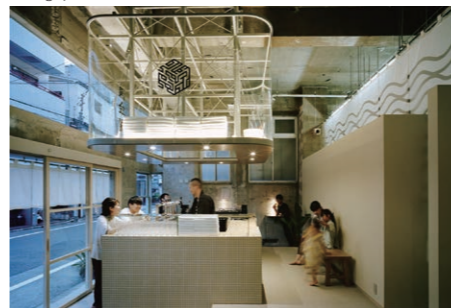
なくありません。そうした方々から『深夜も銭湯に入りたい』という声をいただいていたので、何とか実現したいと思ったんです」

オールナイト営業を実行するには、深夜に働ける従業員を確保する必要があります。従業員を増やしても、利用者が増えなければ採算がとれないかもしれない。新保さんにとって、改修工事よりもプレッシャーのかかる経営判断だった。

「働き方が多様化していることもあり、思った以上に好評でした。改修後は混雑することもあったのですが、分散を図ることもできました」

若い世代の来訪も増加し、「新たな銭湯の価値」は、確かな手応えとして形になり始めていた。

Photograph credit: Yurika Kono



黄金湯の入口にある番台バー。ビアバーとDJブースを備えており、オリジナルクラフトビールやアナログレコードの音楽を楽しむことができる。銭湯を訪れた人たちの新たな交流の場となっている。

近隣銭湯も引き継ぎ
アートの文脈で層を拡大

しかし、大黒湯が好調な一方で、銭湯業界は苦境が続いており、廃業を考える銭湯も現れていた。大黒湯から徒歩5分ほどに位置する「黄金湯」も、その一つだった。

「90年以上の歴史を持つ黄金湯が閉業すると聞き、引き継ぎをせよ」と申し出ました。大黒湯は地域に住んでいる銭湯に馴染みのない人たちがアプロロチしていましたが、黄金湯は異なる層へアプロロチすれば、共存しつつ新しい価値を生み出せると考えたんです」

黄金湯では、銭湯を軸にした多角的な事業を展開し、銭湯以外の目的



「湯上がりの最高のひとときを醸造する」をコンセプトに開発したクラフトビール。2023年に開設した醸造所で製造しており、大黒湯など系列銭湯で販売しているほか、黄金湯と醸造所併設のビアバーでは生ビールを楽しめる。

でも訪れたいと思える事業形態を目指すことに。友人であるアーティストの高橋理子氏から「銭湯文化を次世代に残したい」という思いに共感

株式会社 新保浴場の これからの展開

現在は、東新宿「金沢浴場」の新装開店に向けて準備を進めています。太陽熱を活用した給湯システムを導入し、環境への貢献と光熱費高騰への対策を両立させたいと考えています。

今後は従業員も100名規模になる見通しです。従業員には銭湯文化に社会的な価値を見出す若い世代が多く、次の世代へつなげていく可能性を感じています。



したクリエイターの輪が広がり、ブランドینگやロゴデザイン、内装、暖簾や銭湯絵といった形でリニューアルに協力してもらった。

そして、2020年夏に伝統を残しながら先進的な空間へと生まれ変わった黄金湯は話題を集め、銭湯でありながらアートや建築の文脈でも語られる存在となった。現在は飲食店や宿泊施設も併設。銭湯をカルチャーの発信地として再定義する取り組みは大きな反響を呼び、若者や観光客にも支持が広がっている。

「近隣の『さくら湯』と東新宿の『金沢浴場』も承継し、オリジナルクラフトビールの醸造所も立ち上げました。次の世代に銭湯文化をバトンパスするために、新たなチャレンジを続けていきたいです」

個性豊かな
フレーバーも絶品!



ティラミス 540円(税込) アールグレイ 540円(税込)

職場で
食べたい

おやつ&ごはん

リフレッシュ・会話のきっかけに最適な
おやつやテイクアウトメニューをご紹介します!

遊び心のある
パッケージにキュン!



ふくろうのたまご (プレーン) 1,350円(税込)
焼き菓子とジェラートの専門店。「心の温度と口角が上がるお菓子」を掲げ、味はもちろん、手に取りたくなるパッケージも魅力の一つ。「ふくろうのたまご」は、ほろほろとした食感と優しい甘さのブルドネージュで、プレーン・木いちご・京抹茶の3種類を販売中。

mUni
むに
西荻窪

03-6697-5933 東京都杉並区西荻北4-1-20 小林ビル1F 11:00~18:30(なくなり次第終了) 月・火 JR中央線・総武線 西荻窪駅北口から徒歩5分

他では味わえない
“究極”のなめらか食感



トミーズプリン
500円(税込)

「イタリアン」がコンセプトのプリン専門店。オリジナルの製法で生み出す、なめらかな食感が自慢。「トミーズプリン」はその食感を存分に味わえる逸品。「ティラミス」など、イタリアンスイーツらしいフレーバーを常時8種類展開。期間限定フレーバーは、チェックしておきたい。

トミーズプリン工房 戸越銀座店

とみーずぷりんこうぼう としぎんざてん

戸越銀座

03-6426-9200 東京都品川区戸越3-2-4 10:00~21:00 休なし 東急池上線 戸越銀座駅から徒歩4分、都営浅草線 戸越駅A2出口から徒歩2分

注) 上記では、通常時の営業時間、定休日のみを表示しています。営業時間短縮および年末年始や夏期などの臨時休業日につきましては、各店舗にお問い合わせください。

Q 座右の銘は？

A シドニー・ハリスの「Regret for the things we did can be tempered by time; it is regret for the things we did not do that is inconsolable.」です。起業を決めたとき、背中を押されました。
※ やったことに対する後悔は時が和らげてくれるが、やらなかった後悔は決して癒やされることはない。

Q リフレッシュの方法は？

A OBとして一橋大学空手部のコーチを務めています。学生たちのエネルギーに触れることで、活力が湧いてきます。疲れたときは、体調を崩さないように無理せず早めに寝ることも心がけています。

Q 尊敬している経営者は？

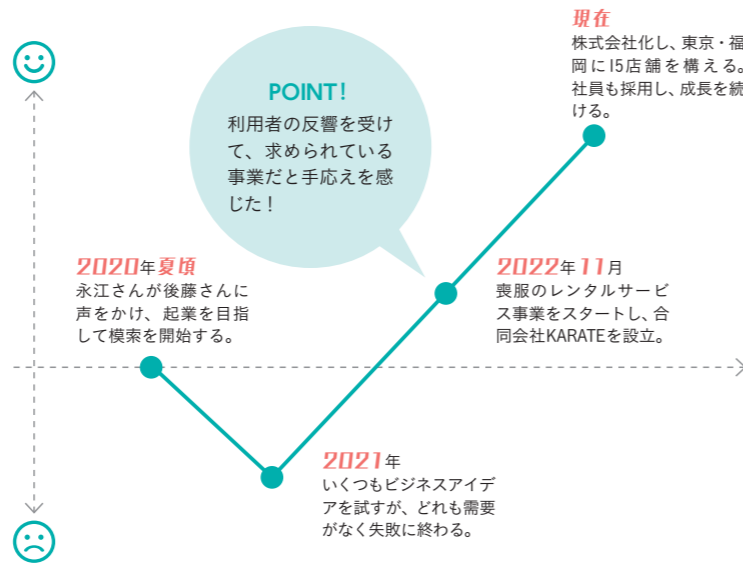
A ファーストリテイリングの柳井正さんです。お客様がほしいものは何かを実直に問い続け、一代で世界的な企業を築き上げてこられました。その経営哲学や考え方から、学ぶべきことはとても多いと感じています。



Profile ながえ・ゆうま

公認会計士。一橋大学卒業後、大手監査法人に入社し、財務諸表監査業務などに携わる。その後、M&Aアドバイザー業務、IT企業での経理・財務・経営企画業務を経て、2022年に後藤佑介氏と共に合同会社KARATEを創業。2025年に喪服レスキュー株式会社への組織変更を行った。

永江さんのモチベーショングラフ



店舗営業が始動すると、昼夜問わず対応に追われた。トラブルがあれば24時間いつでも対処し、在庫がなくなれば店舗に補充に行く。実際に「鍵が開かない」「場所が分からない」といった問い合わせが深夜に入ることもしばしばある。

「お客様は葬儀までの限られた時間で喪服を準備する必要がありますので、常時対応できる体制を整えるのは、事業者として当然だと考えています。現在も続けていますが、全く苦には感じていません。むしろ、自分たちで考え、お客様のニーズに添えていくことにやりがいを感じています」

だからこそ、利用者の声を拾い上げることを何よりも大切にしている。立ち上げ当初から利用者へのヒアリングを行い、店舗には自由に意見を書けるノートを設置。そこに寄せられた「アクセサリーもあると助かる」「バッグも借りたい」という声をもとに小物類のレンタルを始めるなど、要望を反映させながらサービスを広げてきた。

着実に事業は成長しており、現在は都内13店舗（斎場内店舗6ヶ所を含む）、福岡県2店舗の計15店舗にまで拡大している。ただ、永江さんは、会社を一気に成長させたいとは考えていない。

「喪服レンタルというニッチな市場で、出店数や売上の大目標を立てても意味はないと思っています。お客様には長く続けてほしいと言っているだけなので、会社を大きくすることにこだわるのではなく、必要な人に確実にサービスを届け続けることが重要だと考えています」

昨年10月に初めて社員を採用し、目下の課題は組織づくりだという。

「二人だけのやり方は通用しないので、働き方やコミュニケーションの取り方から考えていかなくはなりません。経営者としての責任も一段と重く感じています。事業をより良い形で継続していくためにも私たちなりの組織のあり方を模索していきたいです」

vol.8 TOKYO Startup History

現在活躍しているスタートアップ企業の経営者に、起業から現在までを振り返っていただき、そこで学んだことや大事にしていたことをうかがいました。



大切な人との別れに寄り添う 喪服レンタルサービス

喪服レスキュー株式会社
代表取締役
永江 悠真氏

Company Profile

喪服レスキュー株式会社
創業：2022年
事業内容：喪服の無人店舗レンタルサービス
URL: <https://mofuku-rescue.com>

自身の経験と利用者の声から 需要があると確信した

急な訃報に接し、限られた時間の中であわてて喪服を用意する必要性に迫られた経験はないだろうか。喪服レスキュー株式会社は、そうした「もしものときに頼れる喪服のレンタルサービス」を展開している。24時間スマホで予約でき、無人店舗で試着したうえで即日のレンタルが可能。必要になった際に、手軽かつ自分に合った喪服を用意できるという安心感が魅力のサービスだ。

同社は後藤佑介さんと永江悠真さんが設立し、現在は共同代表として経営にあたっている。起業を目指して二人でさまざまなビジネスアイデアを試しては失敗し、2年ほどかけてたどり着いたのがこの事業だ。きっかけは、永江さんが祖父との別れに際して味わった経験だった。

「祖父が亡くなった際、久しぶりに喪服を着たらサイズが合わなくなっていました。時間がなかったため、そのまま葬儀に参列しましたが、大切な祖父との別れにきちんとした格好で臨めなかった。その経験から、試着して自分にぴったり合った喪服をレンタルできれば、大切な人との別れの中でも少しでも前向きな気持ちを持てるのではないかと考えました」

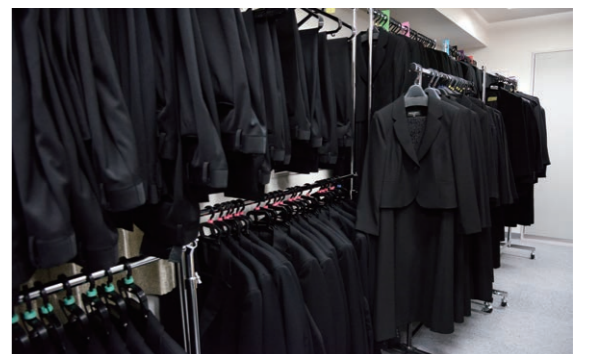
まずは、店舗の初期投資を抑えるため、オンラインで予約を受け、待ち合わせ場所で直接受け渡すスタイルでの喪服レンタル事業からスタートし、ニーズの有無を検証した。

「知らない相手から服を受け取るという心理的

ハードルを越えてでも、お金を払って利用する人がいること、そして喜んでもらえることが確認できました。これなら店舗展開もできると確信し、企業として継続していける可能性も感じました」

事業規模の急速な拡大よりも 長く続く企業を目指したい

手渡しのサービスで手応えを感じた永江さんたちは、店舗での運営に乗り出した。しかし、起業したばかりで信用がない中で、無人運営で24時間人が出入りするという業態。その上、商材はネガティブなイメージのある喪服という条件での物件探しは難航した。何十件も問い合わせ、ようやく事業に理解を示すオーナーと出会えた。



幅広いサイズの中から、自分に合った喪服を探すことができる。レンタル期間は1週間でクリーニングも不要のため、ゆとりを持って利用できる。
※ 写真は店舗ではなく事務所

LINE公式アカウント 友だち募集中!



当協会では、LINE公式アカウントを開設しています。経営に役立つ情報や最新情報をタイムリーに配信しておりますので、皆さまこの機会にぜひ「友だち追加」をお願いいたします。

- 各種保証制度のご案内
- 経営支援メニューのご紹介
- 相談窓口のご案内
- 各種セミナー・イベント情報

便利なメニューもご活用ください!

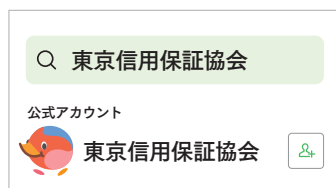
トーク画面の下部に、便利なメニューボタンを設置しています。
ホームページの「事業所一覧」等、ご利用の多いページにすぐにアクセスすることができます。ぜひご活用ください。



友だち追加方法

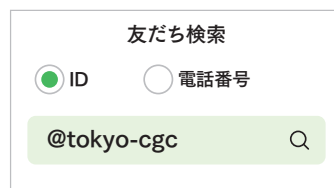
1 ワード検索から

「ホーム」または「トーク」画面上部の検索窓に「東京信用保証協会」と入力して検索し、追加してください。



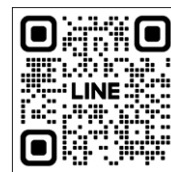
2 ID検索から

「友だち追加」▶「検索」から「@tokyo-cgc」と入力して検索し、追加してください。



3 二次元コードから

下記の「二次元コード」を読み込んで追加してください。



お問い合わせ

東京信用保証協会 企画部広報課 TEL:03-6264-1695



● Editor's Note

伝統の銭湯文化を守りつつ、現代のニーズに応える新新社長の挑戦に深く感銘を受けました。革新を恐れない果敢な取り組みが、次世代へ文化をつなぐ第一歩となっているのだと思います。(N)
ご自身の経験から生まれた24時間対応の喪服レンタル。これまでありそうでなかったこのサービスは、いざという時に、心強いサポートになりそうです。(S)

＼まるガモ応援隊／



初めての銭湯にワクワクしているまるガモたち。でも僕たち、お風呂にどうやって入ればいいのかな……?

ご意見・ご感想は、以下までお寄せください。
東京信用保証協会 企画部広報課
〒104-0061 東京都中央区銀座6-17-1
銀座6丁目-SQUARE 13階
TEL: 03-6264-1695
HP: <https://www.cgc-tokyo.or.jp/>

